

令和1年度美幌町総合教育会議資料

令和元年10月2日(水)

平成31年度(令和1年度)

全国学力・学習状況調査結果について(概要)

美幌町教育委員会

1 はじめに

- 全国学力・学習状況調査は、平成19年度から、全ての市町村や学校の学力等の状況の把握等のために、対象学年の全児童生徒が参加して実施され、今年度で13年目を迎えました。
- 本調査については、小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から本格実施される新学習指導要領のねらいに基づき、今年度の調査から、教科の改善等がされています。
- 今年度の全国学力・学習状況調査は
 - 小学校6学年は、国語と算数の2教科、中学3学年は国語・算数、さらに今年度から英語が加わり3教科で行われました。なお、英語については、理科と同様、3年に一度行われます。
 - 昨年までのA問題(主として「知識」に関する問題)とB問題(主として「活用」に関する問題)の区分がなくなり、今年度からAB問題が一体化されました。
- 本年度も全国学力・学習状況調査結果について、文部科学省から7月下旬に公表されました。美幌町教育委員会としても、これに応じて、美幌町の小学校・中学校別の結果概要の公表を、町『広報』において、9月号(9月1日発行)を第1回目として、12月号までの4回シリーズで、町民の皆様にお知らせします。お知らせする回数は昨年度の3回から4回に増やし、ページも1～3回は各1ページ、4回目は2ページと増え、結果についてはより細やかに町民の皆様にお知らせします。
- 本調査結果は、学校における教育活動の一側面であり、学力のすべてを表しているものではありませんが、概要をお知らせすることにより、美幌町の子どもたちの現状をご理解いただき、今後の教育施策等に反映していただければ幸いです。
『地域の子どもは地域で育てる。』の視点で、町民全体で、それぞれの役割を担いながら、未来ある子供を育てていきます。

2 全国学力・学習状況調査について

- (1) 実施日 平成31年4月16日(火) (*実施当日は平成31年です。)
*東陽小学校においては、実施日はインフルエンザによる学校閉鎖のため、翌週4月23日(火)に延期して行っています。
- (2) 対象学年 小学校6学年の全児童と中学校3学年の全生徒
【実施人数】

●小学校6学年	美幌小41人	旭小25人	東陽小43人	計109人
*全国集計値人数	美幌小41人	旭小25人		計66人
●中学校3学年	美幌中72人	北中79人		計151人
- (3) 学力調査実施教科

小学校6学年	国語、算数
中学校3学年	国語、数学
	英語(聞くこと、読むこと、書くこと)と(話すこと)

 学習状況調査(学校、児童生徒質問用紙調査)

3 全国学力・学習状況調査結果の概要について

最初に、美幌町広報『びほろ』9月～12月号で町民の皆様にお知らせする内容があります。
次に、広報原稿の基となった、調査結果、分析、方向性等の資料等を記載しています。
よろしくお願いいたします。

1 町民への公表【広報『びほろ』掲載原稿】

9月1日号掲載

成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の概要 <その1>

美幌町の児童生徒の学力の状況について

美幌町教育委員会

今年度の全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせします。本調査結果は学力のすべてを表しているものではありませんが、美幌町の小学校6学年と中学校3学年の学力の状況としてご理解いただきたいと思います。今年度の調査より全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、昨年度までのAB区分がなくなっています。また、今年度から中学校に新たに英語が加わりました。

【平均正答率について、全国・北海道をもとにした美幌町の状況をお知らせします。】

今年度の結果は、美幌町全体として、小中学校ともに、全国や北海道の平均正答率を下回りました。また、この数年の美幌町全体の学力はオホーツク管内の市町村の中でも下位に当たり厳しい状況です。

小学校6学年	国語	算数
美幌町	55	58
全国(公立)	63.8	66.6
美幌町と全国との差	▼8.8	▼8.6
北海道(公立)	63	64
美幌町と北海道との差	▼8	▼6

※調査当日、東陽小学校はインフルエンザによる学校閉鎖のため、別の日に実施しました。

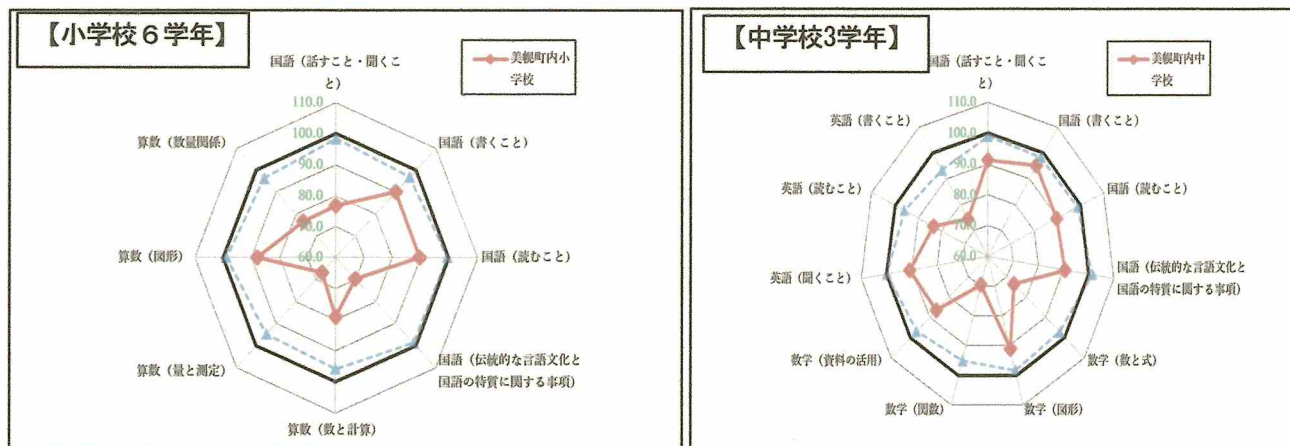
中学校3学年	国語	数学	英語	
			聞く・読む・書くこと	話すこと
美幌町	66	49	47	26.5
全国(公立)	72.8	59.8	56.0	30.8
美幌町と全国との差	▼6.8	▼10.8	▼9.0	▼4.3
北海道(公立)	72	58	54	◇
美幌町と北海道との差	▼6	▼9	▼7	◇

- 美幌町の平均正答率は、小中学校全ての教科で全国より下回りましたが、全国との差を昨年度と比較すると、小6の算数が3～5ポイントほど縮まりました。
- 学校別にみると、学校間の差は大きくなっています。その中で、小学校一校が算数で全道平均値を上回り、もう一校が国語で全道平均値と同じになったことは大きな成果です。
- 町としては改善傾向ですが、管内的状况には危機感をもち、各校は『チーム学校』として学力向上に取り組んでいます。課題や振り返りを明確にした授業、ICTの効果的な活用、工夫ある習熟度別指導、話を聞く態度等の学習訓練の徹底、放課後や夏休みの学習サポートの充実等、それぞれの目標に具体的な数字を設定し、達成ラインを明確にした取組を進めています。
- 一方で家庭での学習習慣が身につけていないことも大きな課題です。家庭で勉強している時間が30分より少ないと回答した小6は33%で実に全国の約4倍、60分以内と全くしないと回答した中3はあわせて54%と全国の約2倍となっています。また全く勉強しないと答えた生徒は10%を超えています。
- 美幌の子ども達の現状をしっかりと受け止め、学校と家庭、教育委員会、それぞれがやるべきこと、役割を明確にすることが大切です。地域のサポートをいただきながら、町全体で取り組むことが必要であり、そのために、できることを、広報などを通じて、具体的に示していきたいと考えています。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の概要 <その2>

美幌町の児童生徒の学力の状況について

シリーズ2回目は、教科ごとの学力の状況について概要をお知らせします。



【小学校6学年】

国 語	算 数
・4領域の中で全国に最も近いのは「書くこと」です。 ・全14問のうち、<u>正答率が最も高いのは『読むこと』領域の「目的に応じて本や文章全体を概観して効果的に読む」問題(80%)</u>で、最も低いのは「<u>カンシンをもつ</u>」の<u>関心を漢字で書く問題(16.7%)</u>でした。無回答率は、30%台が2問、20%台が4問で、漢字を書く問題は3問とも20%が無回答でした。正答数の割合は、11～14問24%(全国38%)、0～4問27%(全国12%)でした。	・4領域の中で全国に最も近いのは「図形」です。 ・全14問のうち、<u>正答率が最も高いのは、『数量関係』領域の「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る」問題(92%)</u>で、最も低いのは、『数と計算』領域の「<u>わり算の計算の仕方について「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って言葉でまとめる問題(21%)</u>」で、無回答率も33%でした。他に20%台の無回答率の問題が1問ありました。正答数の割合は、11～14問16%(全国41%)、0～5問25%(全国13%)でした。

【中学校3学年】

国 語	数 学	英語(聞く・読む・書く)
・4領域の中で全国に最も近いのは「書くこと」です。 ・全10問のうち、<u>正答率が最も高いのは『読むこと』領域の「短歌を一首選び感じたことや考えたことを書く」問題(88%)</u>で、最も低いのは、同じ領域の「<u>文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつ</u>」問題(47%)でした。無回答率は10%台1問のみでした。正答数の割合は、10問8%(全国17%)、0～5問31%(全国24%)でした。	・4領域の中で全国に最も近いのは「図形」です。 ・全16問のうち、<u>正答率が最も高いのは『図形』領域の「三角形を平行移動したとき移動の距離を求める」問題(80%)</u>で、最も低いのは、『関数』領域の「<u>問題解決の方法を式やグラフを用いて数学的に説明する</u>」問題(22%)でした。無回答率は、40%台2問、30%台1問、20%台3問でした。正答数の割合は、12～16問22%(全国39%)、0～4問28%(全国15%)でした。	・3領域の中で全国に最も近いのは「書くこと」です。 ・全21問のうち、<u>正答率が最も高いのは『聞くこと』領域の「英語を聞いて内容を適切に表している絵を選択する」問題(86%)</u>で、最も低いのは『聞くこと』領域の「<u>英語を聞いて、アドバイスを書く</u>」問題(1%)で、無回答率も62%でした。他の無回答率は、50%台1問、20%台3問でした。正答数の割合は、13～21問24%(全国44%)、0～7問26%(全国15%)でした。

このような状況の中、**今年度は、小中ともに無回答率、算数・数学における下位層の割合が減少しました。**また、学習状況調査において、『国語の勉強は大切だと思いますか。』の質問に、小6は88%、中3は95%で、中3は全国より4%上回りました。算数・数学と英語も同様で、美幌の子供は勉強を大切にしています。この気持ちを受け止め、子供たちの『学びたい、わかりたい、好きになりたい。』のために、本年から調査問題にも取り入れられている『主体的、対話的、深い学び』への授業改善に、より重点的に取り組みます。

11月1日号掲載予定

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の概要 <その3>

美幌町の子供の家庭での学習状況について

シリーズ3回目は、【質問紙からみた児童生徒の生活習慣や学習状況】から、家庭での学習状況についてお知らせします。学力向上の取組には生活習慣や学習習慣の形成が不可欠です。

この4年間で勉強時間は増えていません。しかし計画を立てて勉強する小中学生は増えました！

①平日、学校の授業時間以外に家庭や学習塾等で1日当たり1時間以上勉強する割合(%)

	年度	美幌町	北海道	全国
小6	平成28	35.6	54.7	62.5
	平成29	40.9	57.1	64.4
	平成30	38.2	57.1	66.2
	平成31(令和1)	37.4	57.6	66.1
中3	年度	美幌町	北海道	全国
	平成28	37.8	61.8	67.9
	平成29	51.2	64.2	69.6
	平成30	52.2	64.7	70.6
	平成31(令和1)	45.9	63.2	69.8

②勉強を全くしない割合(%)

	年度	美幌町	北海道	全国
小6	平成28	2.5	2.6	3.0
	平成29	6.7	7.8	9.7
	平成30	5.2	2.2	2.5
	平成31(令和1)	0.0	1.8	2.3
中3	年度	美幌町	北海道	全国
	平成28	16.1	7.6	5.5
	平成29	15.7	6.5	4.9
	平成30	14.9	6.7	4.9
	平成31(令和1)	11.3	6.2	4.4

③ 家庭において、自分で計画を立てて勉強している割合(%)

	年度	美幌町	北海道	全国
小6	平成28	55.0	63.3	62.2
	平成29	62.2	65.4	64.5
	平成30	58.4	67.6	67.6
	平成31(令和1)	64.2	71.3	71.5
中3	年度	美幌町	北海道	全国
	平成28	30.9	48.2	48.4
	平成29	39.0	51.2	51.5
	平成30	47.8	52.6	52.1
	平成31(令和1)	51.4	49.2	50.4

● 学力向上の取組に欠かせない要因として、家庭での学習習慣の定着があります。今回は、家庭での学習について、現状・実態をみてみます。

① 平日に1日当たり1時間以上勉強している割合は、小6で37.4%、中3で45.9%と、小6は4割、中3は5割を切っています。また、全国平均と比べると、小6は3割、中3は2割ほど下回っています。さらに中3は、昨年度より5.5%開きました。

② 別の見方をすれば、中3で、全く勉強をしないと1時間以内をあわせると54%にもなり、全国30%の1.8倍にもなります。小6も62.7%で、全国34%の1.8倍です。また、小6で30分より少ないは32.8%で、全国7.6%の実に4倍以上にもなります。しかし、小6で全く勉強をしない児童は0%になりました。

③ 家庭において、自分で計画を立てて勉強している割合は、小6が64.2%で、全国より7.3%下回りましたが、中3は51.4%で、全国より1%上回りました。また、町として昨年度と比べると、小6は5.8%、中3は3.6%と、小中どちらも増え、大きな成果です。

① 1日1時間以上勉強する

小6は、29年度の40.9%をピークに下降傾向で、中3は、28年度から増加傾向でしたが、29・30年度の50%超えから、今年度は7%減少しました。全体的には、この4年間で勉強時間は増えていたとは言えません。

② 勉強を全くしない

小6は、今年度になって初めて0%になり大きな成果です。中3も、28年度から4.8%減少しています。

③ 計画を立てて勉強している

小6は、全体的に増加傾向にあり、今年度は、28年度から9.2%も増加しています。中3も年々増加し、28年度から20.5%も増加しています。これらのことから、自分で計画して勉強する小中学生が増加し、中学生がはじめて全国を上回りました。

今一度、お子さんの家庭での学習習慣を見直していただき、家庭での励ましやアドバイスもいただきながら、質と量のバランスある学習習慣の定着に向けて、美幌町として、皆さんで取り組んでいきましょう。

12月1日号掲載予定

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の概要 <その4・最終回> 美幌の子供の生活習慣・学習状況について

美幌の子供たちは頑張っています！ シリーズ4回目は、【児童・生徒質問紙からみた生活習慣や学習状況】から、**美幌町の児童生徒の結果が全国平均より上回っている項目を取り上げました。**

【小学校6学年】 質問58項目のうち11項目(19%)が全国を上回りました。

質問紙の項目	美幌町	全国	全国比
①5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか【ほぼ毎日と週1回以上の合計】	49.2	30.6	18.6
②外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	73.1	68.6	4.5
③道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	85.0	80.9	4.1
④算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	91.1	87.0	4.1
⑤将来の夢や目標をもっていますか	86.6	83.8	2.8
⑥算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずに色々な方法を考えますか	83.6	82.0	1.6
⑦算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.0	92.5	1.5
⑧人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.5	95.2	0.3
⑨算数の勉強は大切だと思いますか	94.0	93.7	0.3
⑩家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしますか	77.6	77.4	0.2
⑪日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。	76.2	76.1	0.1

★昨年度と全てが同じ質問ではありませんが、全国を上回った項目は、3項目から11項目と大きく増えました。★

1【質問①】 最も全国より上回った項目で、本町の教育施策の重点でもある実物投影機や電子黒板、iPad等のICTを活用した授業が、各学校で積極的に展開されています。

2【質問②⑪】 長年来、本町が導入しているALT(外国語指導助手)事業の成果が現れました。低学年からALTといっしょに楽しく体を動かしながら学習する外国語活動は、外国の人との触れ合いや、外国への意欲・関心を高めています。ALTは2学期から1名増員されており、ますます学習の充実が図られています。

3【質問④⑥⑦⑨】 小6は国語と算数で同内容の質問がありますが、全国を上回ったのは全て算数の項目です。ノートづくりは、各校で積極的に取り組まれています。また『算数の問題を諦めずに考える。』『算数は、将来役に立つ。』の項目が全国を上回ったことは、算数の正答率が全国を大きく下回る状況において、改善の道を示しています。特に最後まで諦めずに問題を解こうとする子供の姿勢には、応えていかなければなりません。

4【質問⑤⑧】 『将来の夢や目標をもっている』『人の役に立つ人間になりたい。』この2つの質問で全国を上回ったのはとても意義のあることです。美幌の子供の明るく前向きな気持ちに、頼もしさを感じます。

5【質問③】 「道徳の時間」が「特別の教科道徳」になり、学校は道徳の授業づくりに取り組んでいます。新学習指導要領で目指す授業は、「主体的、対話的で、深い学び」の展開ですが、道徳も同じです。その中で、「考えを深める、話し合う活動」に取り組んでいる割合が全国を上回ったことは、各学校において道徳の授業改善が積極的に進められているからです。

【中学校3学年】 質問69項目のうち36項目(52%)が全国を上回りました。

質問紙の項目	美幌町	全国	全国比
①将来の夢や目標を持っていますか	84.6	70.5	14.1
②先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	92.7	84.6	8.1
③1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	82.0	74.6	7.4
④1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	87.4	80.1	7.3
⑤先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.0	81.5	6.5
⑥学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	88.7	82.8	5.9
⑦国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.3	88.0	5.3
⑧国語の勉強は大切だと思いますか	95.4	91.0	4.4
⑨1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	83.4	79.2	4.2
⑩1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	85.3	81.2	4.1
⑪国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	75.3	71.6	3.7
⑫人が困っているときは、進んで助けていますか	89.3	85.9	3.4
⑬日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	62.7	59.3	3.4
⑭1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	80.0	76.6	3.4
⑮総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	64.7	61.5	3.2
⑯授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	78.0	74.9	3.1
⑰難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	73.3	70.3	3.0
⑱1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で、英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	80.0	77.4	2.6
⑲学校の部活動に参加していますか	90.0	87.5	2.5
⑳家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	78.7	76.4	2.3
21人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.6	94.3	2.3

★中3も昨年度と全てが同じ質問ではありませんが、全国を上回った項目は、20項目から36項目と大きく増えました
以下、36項目のうち、いくつかの項目について取り上げてみました。

1【質問①⑫⑰⑳】 『将来の夢や目標をもっている』『困っている人を助けたい』『失敗を恐れなくて挑戦している』『人の役に立つ人間になりたい』が中3の思いです。これらが全国を上回ったことは、生徒の力強さや頼もしさ、優しさを感じます。美幌の子供は、ひたむきで、実直な心で、のびのびと成長しています。

2【質問②⑤】 「先生は」から始まる質問で、『わかるまで教えてくれる』と『いいところを認めてくれる』が全国を上回っています。生徒が先生への信頼と感謝をもち、とてもいい関係で学習が成り立っていることに、心が温かくなります。学校生活の基盤は、何と言っても先生と生徒の絆、信頼関係です。

3【質問③④⑨⑩⑭⑱】 この6問は、「1, 2年生のときに受けた授業では」から始まり、5問が「英語」に関するものです。結果から、1・2年生の英語の授業は、自分の考えを書く、要点をまとめる、話し合いをする等の活動がしっかりと取り組まれていたことを示しています。生徒は英語の学習に成就感をもっています。残り一つは道徳で、中学校でも「考えを深める、話し合う活動」を重視した授業へ転換が図られています。

4【質問⑥】 生徒は、学年や学級の実組の中で成就感や達成感を体感しています。例えば、生徒が主体的・意欲的に取り組む運動会や合唱コンクール等の行事は、美幌の中学校の特色ある活動にもなっています。

今年度の調査から、美幌の子供は、学力的には厳しい結果でしたが、学習・生活状況からは、「明るく、前向きで、優しい美幌の子供像」があらためて浮き彫りになりました。美幌の子どもたちは、もっと頑張りたい、向上したいという気概があります。ただ、その後になすべき術をもっていない、なしえる環境に至っていない子もいるのです。本当に学習に困っている子、友達等との関係や様々な環境で悩んでいる子を、いつまでもそのままにしておくことはできません。まずは、家庭は、毎朝、朝ごはんを食べてから、「いってらっしゃい。」の言葉で送り出しましょう。学校は、子供の「今日の勉強は分かった。」「学校は楽しい。」のために、一人一人の子供の姿を十分に受け止め、迅速に対応します。教育委員会は、そのために必要な条件や施設・整備面での環境を整えます。

シリーズは今回が最終です。調査は一面で、結果が全てではありません。ただ結果は一つの実事ではあります。学校、家庭、地域、町教委が、心ある信頼関係のもと、まずは美幌の子供の成果も課題も受け止め、共有した中で、それぞれの知恵を出し合いながら、子供と向き合しましょう。美幌の全ての子供は、美幌の全ての大人で育てます。

2 美幌の子供の学力の状況について【概要】

①【平均正答率】をもとに全国と比較すると

【小学校】

* 美幌町欄平均→全国集計は(美小+旭小)の平均

町平均(町公表欄)は、全て全国・全道平均より下回りました。

旭小の国語は全道と同じ正答率！ (東陽小の算数は全道を上回る！)

			国 語	算 数
全国	令和1・平成31		63.8	66.6
全道	令和1・平成31		63	64
美幌町	R1 H31	全国集計	51	53
		町公表	55	58
	全国比	全国集計	▼ 12.8	▼ 13.6
		町公表	▼ 8.8	▼ 8.6
	全道比		▼ 8	▼ 6
美幌 小学校	令和1・平成31		44	48
	全国比		▼ 19.8	▼ 18.6
	全道比		▼ 19	▼ 16
東陽 小学校	令和1・平成31		58	66
	全国比		▼ 5.8	▼ 0.6
	全道比		▼ 5	△ 2
旭 小学校	令和1・平成31		63	61
	全国比		▼ 0.8	▼ 5.6
	全道比		0	▼ 3

【全国、北海道の平均正答率をもとにした美幌町の状況】 4年間の経年結果

《小学校》

実施年度	小学校6年	国語A	国語B	算数A	算数B	
平成 28年度	美幌町	67.5	44.9	66.4	35.5	
	全国差	▼ 5.4	▼ 12.9	▼ 11.2	▼ 11.7	
	全道差	▼ 3.5	▼ 11.1	▼ 8.9	▼ 9.0	
	管内差	未公表				
実施年度	小学校6年	国語A	国語B	算数A	算数B	
平成 29年度	美幌町	73	50	74	40	
	全国差	▼ 1.8	▼ 7.5	▼ 4.6	▼ 5.9	
	全道差	▼ 1	▼ 6	▼ 3	▼ 4	
	管内差	△ 1.5	▼ 2.1	▼ 1.1	△ 0.2	
実施年度	小学校6年	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
平成 30年度	美幌町	62	46	52	38	53
	全国差	▼ 8.7	▼ 8.7	▼ 11.5	▼ 13.5	▼ 8.7
	全道差	▼ 8	▼ 7	▼ 10	▼ 11	▼ 6
	管内差	▼ 3.6	▼ 3.4	▼ 7.0	▼ 5.5	▼ 3.5

実施年度	小学校 6 年	国語	算数	
平成 31 年度	美幌町	5 5	5 8	
令和 元年度	全国差	▼ 8.8	▼ 8.6	
	全道差	▼ 8	▼ 6	
	管内差	未公表		

実施年度	小学校 6 年	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
平成28年度	全国	72.9	57.8	77.6	47.2	
平成29年度		74.8	57.5	78.6	45.9	
平成30年度		70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
平成31年度 令和元年度		63.8		66.6		
平成28年度	全道	71.0	56.0	75.3	44.5	
平成29年度		74	56	77	44	
平成30年度		70	53	62	49	59
平成31年度 令和元年度		63		64		
平成28年度	管内	未公表				
平成29年度		71.5	52.1	75.1	39.8	
平成30年度		65.2	49.1	58.9	43.8	56.6
平成31年度 令和元年度		未公表				

【中学校】 町平均は、全て全国・全道平均より下回りました。

		国 語	数 学	英 語	
				聞くこと、読むこと、書くこと	話すこと
全国	令和1・平成31	72.8	59.8	56.0	30.8
全道	令和1・平成31	72	58	54	公表なし
美幌町	令和1・平成31	66	49	47	公表なし(26.5)
	全国比	▼ 6.8	▼10.8	▼ 9.0	公表なし(▼ 4.3)
	全道比	▼ 6	▼ 9	▼ 7	公表なし
美幌中学校	令和1・平成31	66	44	45	26
	全国比	▼ 6.8	▼15.8	▼11.0	▼ 4.8
	全道比	▼ 6	▼14	▼ 9	公表なし
北中学校	令和1・平成31	66	53	49	27
	全国比	▼ 6.8	▼6.8	▼7.0	▼ 3.8
	全道比	▼ 6	▼ 5	▼ 5	公表なし

【全国、北海道の平均正答率をもとにした美幌町の状況】 4年間の経年結果

〈 中学校 〉

実施年度	中学校 3 年	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	
平成 28年度	美幌町	73.9	63.2	55.8	33.7	
	全国差	▼ 1.7	▼ 3.3	▼ 6.4	▼10.4	
	全道差	▼ 1.2	▼ 1.8	▼ 6.0	▼13.2	
	管内差	未公表				
実施年度	中学校 3 年	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	
平成 29年度	美幌町	72	64	57	42	
	全国差	▼ 5.4	▼ 8.2	▼ 7.6	▼ 6.1	
	全道差	▼ 5	▼ 8	▼ 7	▼ 5	
	管内差	▼ 2.4	▼ 4.3	▼ 3.5	▼ 1.3	
実施年度	中学校 3 年	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
平成 30年度	美幌町	72	56	59	40	62
	全国差	▼ 4.1	▼ 5.2	▼ 7.1	▼ 6.9	▼ 4.1
	全道差	▼ 5	▼ 5	▼ 6	▼ 6	▼ 5
	管内差	▼ 3.2	▼ 3.0	▼ 3.2	▼ 2.9	▼ 2.5
実施年度	中学校 3 年	国語		数学		英語
平成 31年度 令和 元年度	美幌町	66		49		47
	全国差	▼ 6.8		▼10.8		▼ 9.0
	全道差	▼ 6		▼ 9		▼ 7
	管内差	未公表				

実施年度	中学校3年	国語A	国語B	数学A	数学B	理科・英語
平成28年度	全国	75.6	66.5	62.2	44.1	
平成29年度		77.4	72.2	64.6	48.1	
平成30年度		76.1	61.2	66.1	46.9	理 66.1
平成31年度 令和元年度		72.8		59.8		英 56.0
平成28年度	全道	75.1	65.0	61.8	43.3	
平成29年度		77	72	64	47	
平成30年度		77	61	65	46	理 67
平成31年度 令和元年度		72		58		英 54
平成28年度	管内	☆	☆	☆	☆	
平成29年度		74.4	68.3	60.5	43.3	
平成30年度		74.7	58.8	62.5	42.6	理 64.4
平成31年度 令和元年度		未公表				

以下の内容についての分析等は、町としての数値は、文科からの資料(美幌小と旭小2校66人分)です。東陽小は入っていません。ただ、東陽小の個別数値が提供されているものは掲載しています。



②【平均正答数をもとに全国と比較すると】

【小6 国語】 → 全国平均まであと1.7問

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
美幌町	66	7.2/14	51	7.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9/14	63.8	10.0	3.4
全国と町の差		-1.7/14	-12.8		
北海道(公立)	38,831	8.8/14	63	9.0	3.4
全道と町の差		-1.6/14	-12		

【小6 算数】 → 全国平均まであと1.8問

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
美幌町	66	7.5/14	53	8.0	3.2
全国(公立)	1,028,177	9.3/14	66.6	10.0	3.1
全国と町の差		-1.8/14	-13.6		
北海道(公立)	38,837	9.0/14	64	9.0	3.1
全道と町の差		-1.5/14	-11		

【中3 国語】 → 全国平均まであと0.7問

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
美幌町	151	6.6/10	66	7.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3/10	72.8	8.0	2.4
全国と町の差		-0.7/10	-6.8		
北海道(公立)	37,859	7.2/10	72	8.0	2.4
全道と町の差		-0.6/10	-6		

【中3 数学】 → 全国平均まであと1.8問

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
美幌町	150	7.8/16	49	8.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6/16	59.8	10.0	4.2
全国と町の差		-1.8/16	-10.8		
北海道(公立)	37,844	9.3/16	58	10.0	4.2
全道と町の差		-1.5/16	-9		

【中3 英語】 → 全国平均まであと2.0問

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
美幌町	150	9.8/21	47	9.0	3.7
全国(公立)	938,888	11.8/21	56.0	12.0	3.9
全国と町の差		-2.0/21	-9		
北海道(公立)	37,844	11.4/21	54	11.0	3.8
全道と町の差		-1.6/21	-7		

* 平均正答数をもとに全国と比較すると、小6は、国語1.7問、算数1.8問差と、全国平均までは、ほぼ2問の正答数が必要です。

中3も、国語1.8問、算数2.0問差と、全国平均までは、2問の正答数が必要です。

美幌の子ども、よく言われるあと1問の壁ではなく、あと2問の壁が実態です。

③【正答数をもとに下位層を全国と比較すると】

● 下位層について (正答数4段階(4等分)のうち、下位の第1四分位についての比較です。)

* 四分位～集団のデータを大きさの順に並べた時に、4等分する位置の値のこと。小さい方から順に第1四分位、第2四分位(中央値と同じ値)、第3四分位という。

【小学校6年】 小学校の第1四分位について、全国と比べると、

令和元年度	国語	算数
第1四分位正答数	0～4	0～5
全国 %	12.6	13.5
北海道 %	13.3	15.4
美幌町 %	27.3	25.7
全国と町の差 %	+14.7	+12.2

平成30年度	国語A	国語B	算数A	算数B
全国と町の差 %	+9.4	+15.2	+17.1	+18.8

* 例えば 国語 全問題数14問のうち、正答数0～4問(第一四分位)の児童数の割合は、
 全 国 12.6% (全道13.3%) 美幌町 27.3% その差は14.7%である。
 ⇒ 国語において、美幌町の下位層の児童数は全国より約15%多い。同様に、算数は12%以上多い。
 ⇒ 比較はできないが、単純に昨年度の数値からみると、国語は下位層が増加し、算数は下位層が減少した。

【学校別・小学校国語】

4	7	10
---	---	----

平成31・令和元年度		小6 国語				
正答数		0	1～4	5～7	8～10	11～14
児童数	町	1	17	18	14	16
	美幌小	1	15	11	9	5
	東陽小	0	7	9	18	9
	旭小	0	2	7	5	11
割合	全国(公立)	1.2	11.4	18.1	30.3	38.7
	北海道(公立)	1.2	12.1	19.2	30.8	36.8
	町	1.5	25.8	27.3	21.3	24.2
	美幌小	2.4	36.6	26.8	22.0	12.1
	東陽小	0.0	16.3	21.0	41.9	20.9
	旭小	0.0	8.0	28.0	20.0	44.0

* 小学校別に国語の正答数をみると、全問題数14問のうち、正答数0～4問(第一四分位)の児童数の割合は、
 美幌小 39.0% 東陽小 16.3% 旭小 8.0% である。
 ⇒ 小学校1校が、下位の児童の割合が全国平均より4.6%下回っている。
 また上位の子の割合が5%ほど、全国より高い学校がある。

参考【平成30年度】

平成30年度 小 6 国語 A						
正答数		0	1～4	5～8	9～12	
割合	全国(公立)	0.3	9.7	32.8	57.3	
	北海道(公立)	0.3	10.0	33.7	56.0	
	町	0.0	19.4	37.6	42.8	
	美幌小	0.0	19.1	42.7	38.3	
	東陽小	0.0	34.0	25.0	40.9	
	旭 小	0.0	4.8	42.9	52.4	

平成30年度 小 6 国語 B						
正答数		0	1～3	4～6	7～8	
割合	全国(公立)	2.8	29.3	53.6	14.2	
	北海道(公立)	2.9	32.0	53.4	11.7	
	町	7.1	40.3	44.2	8.4	
	美幌小	10.3	39.7	42.7	7.3	
	東陽小	6.8	38.6	45.4	9.1	
	旭 小	2.4	42.9	45.2	9.5	

	平成31・令和元年度	平成30年度			
	国語	国語 A		国語 B	
町	27.3	19.4	今年度 ↓	40.3	今年度 ↑
美幌小	39.0	19.1	今年度 ↓	39.7	今年度 →
東陽小	16.3	34.0	今年度 ↑	38.6	今年度 ↑
旭 小	8.0	4.8	今年度 ↓	42.9	今年度 ↑

【学校別・小学校算数】

5	8	10

小 6 算数						
正答数		0	1～5	6～8	9～10	11～14
児童数	町	1	16	25	13	11
	美幌小	1	12	15	10	3
	東陽小	0	7	6	15	15
	旭 小	0	4	10	3	8
割合	全国(公立)	0.2	13.3	22.1	22.6	41.9
	北海道(公立)	0.2	15.2	24.1	22.4	38.0
	町	1.5	24.2	37.9	19.7	16.6
	美幌小	2.4	29.2	36.7	24.4	7.2
	東陽小	0	16.3	13.9	34.9	35.0
	旭 小	0	16.0	40.0	12.0	32.0

学校別に算数の正答数をみると、全問題数14問のうち、正答数0～5問(第1四分位)の児童数の割合は、美幌小 31.6% 東陽小 16.3% 旭小 16.0% である。

⇒ 全小学校が、全国平均より割合は大きい、小学校2校について、全国と3%、全道と1%程度と差が小さくなっている。

参考【平成30年度】

平成30年度 小6 算数A						
正答数		0	1～5	6～10	11～14	
割合	全国(公立)	0.4	16.1	48.6	34.9	
	北海道(公立)	0.4	17.2	50.3	32.2	
	町	2.6	31.0	49.9	16.2	
	美幌小	4.4	30.8	51.5	13.2	
	東陽小	2.3	34.1	47.7	15.9	
	旭小	0.0	28.6	50.0	21.5	

平成30年度 小6 算数B						
正答数		0	1～4	5～7	8～10	
割合	全国(公立)	3.2	38.3	36.0	22.6	
	北海道(公立)	3.5	42.4	34.9	19.3	
	町	8.4	51.9	32.5	7.0	
	美幌小	7.4	50.0	36.8	5.9	
	東陽小	11.4	54.6	29.5	4.6	
	旭小	7.1	52.3	28.6	11.9	

	平成31・令和元年度	平成30年度			
	算数	算数A		算数B	
町	25.7	33.6	今年度 ↑	60.3	今年度 ↑
美幌小	31.6	35.2	今年度 ↑	57.4	今年度 ↑
東陽小	16.3	36.4	今年度 ↑	66.0	今年度 ↑
旭小	16.0	28.6	今年度 ↑	59.4	今年度 ↑

【中学校3年】

小学校の第1四分位について、全国と比べると、

令和元年度	国語	数学	英語
第1四分位正答数	0～5	0～4	0～7
全国 %	21.4	15.2	15.4
北海道 %	22.1	17.0	16.9
美幌町 %	31.1	28.6	26.7
全国と町の差 %	+9.7	+13.4	+11.3

平成30年度	国語A	国語B	数学A	数学B
全国と町の差 %	+0.7	+6.9	+1.1	+16.6

例えば 数学 全問題数16問のうち、正答数0～4問(第一四分位)の生徒数の割合は、

全 国 15.2% (全道17.0%) 美幌町 28.6% その差は13.4%である。

⇒ 数学において、美幌町の下位層の生徒数は全国より約13%多くなっている。

⇒ 国語において、美幌町の下位層の生徒数は全国より約10%多い。同様に、英語は11%以上多い。

⇒ 比較はできないが、単純に昨年度の数値からみると、国語は下位層が増加し、数学も相対的に下位層が増加したと言える。

【学校別・中学校国語】

5	7	9

平成31・令和元年度		中3 国語				
正答数		0	1～5	6～7	8～9	10
生徒数	美幌町	1	46	39	52	13
	美幌中	0	23	18	25	6
	北 中	1	23	21	27	7
割合	全国(公立)	0.7	20.7	23.1	37.6	17.8
	北海道(公立)	0.6	21.5	23.9	34.8	16.3
	美幌町	0.7	30.4	25.8	34.5	8.6
	美幌中	0	32.1	25.0	34.8	8.3
	北 中	1.3	29.2	26.6	34.2	8.9

* 中学校別に国語の正答数をみると、全問題数10問のうち、正答数0～5問(第一四分位)の生徒数の割合は、美幌中 32.1% 北中 30.5% である。
 ⇒ 下位層(第一四分位)の割合が、両中学校とも、全国平均より10%ほど高くなっている。

参考【平成30年度】

平成30年度		中3 国語A			
正答数		0	1～11	12～22	23～32
割合	全国(公立)	0.1	3.0	25.0	71.8
	北海道(公立)	0.1	2.6	24.4	72.8
	町	0.0	3.8	36.5	59.7
	美幌中	0.0	3.4	38.5	58.3
	北 中	0.0	4.0	35.2	60.6

平成30年度		中3 国語B			
正答数		0	1～3	4～6	7～9
割合	全国(公立)	0.9	16.6	46.8	35.8
	北海道(公立)	0.8	16.5	46.7	36.0
	美幌町	4.4	20.0	45.1	30.7
	美幌中	6.6	18.1	39.4	36.1
	北 中	3.0	21.3	48.6	27.3

平成31・令和元年度		平成30年度			
国語		国語A		国語B	
町	31.1	3.8	今年度 ↓	24.4	今年度 ↓
美幌中	32.1	3.4	今年度 ↓	24.7	今年度 ↓
北 中	30.5	4.0	今年度 ↓	24.3	今年度 ↓

【学校別・中学校数学】

4 8 11

--	--	--	--

平成31・令和元年度		中3 数学				
正答数		0	1~4	5~8	9~11	12~16
生徒数	美幌町	1	42	38	35	34
	美幌中	1	22	20	18	10
	北 中	0	20	18	17	24
割合	全国(公立)	0.8	14.4	23.0	22.2	39.6
	北海道(公立)	0.9	16.1	24.1	21.5	37.4
	美幌町	0.7	27.9	25.3	23.4	22.6
	美幌中	1.4	31.0	28.1	25.4	14.0
	北 中	0.0	25.4	22.8	21.5	30.4

* 中学校別に数学の正答数をみると、全問題数16問のうち、正答数0~4問(第一四分位)の生徒数の割合は、 美幌中 32.4% 北中 25.4% である。

⇒ 下位層(第一四分位)の割合が、両中学校とも、全国平均より10~15%ほど高くなっている。

参考【平成30年度】

平成30年度		中3 数学A			
正答数		0	1~12	13~24	25~36
割合	全国(公立)	0.1	11.3	35.6	52.8
	北海道(公立)	0.1	13.0	35.8	51.0
	美幌町	0.0	12.5	47.6	40.3
	美幌中	0.0	16.4	42.6	40.8
	北 中	0.0	10.0	50.5	39.4

平成30年度		中3 数学B			
正答数		0	1~5	6~10	11~14
割合	全国(公立)	3.0	38.0	43.0	16.0
	北海道(公立)	3.1	40.2	41.3	15.4
	美幌町	5.0	52.6	30.7	11.9
	美幌中	8.2	44.3	31.2	16.4
	北 中	3.0	57.6	30.3	9.1

平成31・令和元年度		平成30年度			
数学		数学A		数学B	
町	28.6	12.5	今年度 ↓	57.6	今年度 ↓
美幌中	32.4	16.4	今年度 ↓	52.5	今年度 ↓
北 中	25.4	10.0	今年度 ↓	60.6	今年度 ↓

【学校別・中学校 英語（聞くこと、読むこと、書くこと）】

7	9	12

平成31・令和元年度			中3 英語			
正答数		0	1~7	8~9	10~12	13~21
生徒数	美幌町	0	40	42	31	37
	美幌中	0	22	20	15	14
	北 中	0	18	22	16	23
割合	全国(公立)	0.1	15.3	13.7	26.7	44.4
	北海道(公立)	0.0	16.9	15.5	27.9	39.6
	美幌町	0.0	26.7	28.0	20.7	24.7
	美幌中	0.0	31.0	28.2	21.1	19.6
	北 中	0.0	22.8	27.9	20.3	29.1

* 中学校別に英語の正答数をみると、全問題数21問のうち、正答数0~7問(第一四分位)の生徒数の割合は、美幌中 31.0% 北中 22.8% である。

⇒ 下位層(第一四分位)の割合が、両中学校とも、全国平均より7~15%ほど高くなっている。

【学校別・中学校 英語（話すこと）】

平成31・令和元年度					中3	英語	
正答数		0	1	2	3	4	5
生徒数	町						
	美幌中	12	31	21	7	0	0
	北 中	15	31	23	10	0	0
割合	全国(公立)	22.9	29.7	25.7	15.1	5.7	1.0
	町						
	美幌中	16.9	43.7	29.6	9.9	0.0	0.0
	北 中	19.0	39.2	29.1	12.7	0.0	0.0

* 中学校別に英語(話すこと)の正答数をみると、全問題数5問のうち、正答数0~1問(第一四分位)の生徒数の割合は、美幌中 60.6% 北中 58.2% である。

⇒ 下位層(第一四分位)の割合は、両中学校とも、全国平均より6~8%ほど高くなっている。

④【無回答率をもとに全国と比較すると】

下位層への対策が課題 【小学校】 国語

問題数	無回答30%台	無回答20%台	無回答10%台
14問	2問	4問	4問

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
3 三	【インタビューの様子】のイに、昼職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	42.4	66.5	68.2	34.8	15.0	14.2
1 四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	28.8	46.1	47.8	30.3	12.2	11.3
1 四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の一部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	16.7	34.1	35.6	27.3	16.7	34.1

⇒ 上位1問は、記述式の問題で、話し手の意図をとらえながら聞き、詩文の意見と比べながら、自分の考えを、30字以上60字以内と、きめられた字数で書く問題である。

《国語への関心・意欲・態度》《話す・聞く能力》

⇒ 2問目も記述式の問題で、一つの文を、接続語「そこで」を使って、二つの文に書き直す問題である。

《言語についての知識・理解・技能》

⇒ 3問目は、「カンシンをもってもらいたい」の『カンシンに関心』と漢字に書き直す問題である。

《言語についての知識・理解・技能》

【小学校】 算数

問題数	無回答30%台	無回答20%台	無回答10%台
14問	1問	1問	3問

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	21.2	30.1	31.1	33.3	12.1	10.8
1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	27.3	41.8	43.9	25.8	7.8	6.7
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び立式することができる	62.1	66.8	68.6	16.7	4.7	4.4

⇒ 上位1問は、記述式で、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基にして、除法に関して成り立つ性質(三つの条件)をすべて書く問題である。

A数と計算 《数学的な考え方》

⇒ 2問目も、記述式で、示された図形の問責の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて書く問題である。

B量と測定 《数学的な考え方》

【中学校】 国語

問題数	無回答30%台	無回答20%台	無回答10%台
10問	0問	0問	2問

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			美幌町	北海道	全 国	美幌町	北海道	全 国
2 3	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなかったこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	51.7	57.9	60.4	16.6	10.6	8.9
3 2	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	70.2	75.7	77.8	16.6	9.8	7.9

⇒ 上位1問目は、記述式で、話し合いの話題や方向をとらえて、自分の考えを、三つの条件を満たして書く問題である。
《国語への関心・意欲・態度》《話す・聞く能力》

⇒ 2問目は、記述式で、伝えたい事柄について、二つの根拠を明確にして書く問題である。
《国語への関心・意欲・態度》《書く能力》

【中学校】 数学

問題数	無回答40%台	無回答30%台	無回答20%台	無回答10%台
16問	2問	1問	3問	2問

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			美幌町	北海道	全 国	美幌町	北海道	全 国
9 (2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	36.0	55.2	59.7	43.3	22.2	17.8
7 (3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、AF=CEになるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし説明することができる	38.0	50.3	53.3	40.0	21.5	17.6
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由をヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	41.3	41.0	40.8	36.7	25.2	21.3

⇒ 上位1問は、記述式で、式を変形したり、その意味を読み取ったりして、理由を説明する問題である。
A数と式 《数学的な見方や考え方》

⇒ 2問目も、記述式で、『〇〇ならば◇◇になる。』という形で、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出して、説明することができる。
B図形 《数学的な見方や考え方》

⇒ 3問目も、記述式で、ヒストグラムや代表値を用いて、資料の傾向をとらえ説明する問題である。
D資料の活用 《数学的な見方や考え方》

【中学校】 英語

問題数	無回答60%台	無回答50%台	無回答20%台	無回答10%台
21問	1問	1問	3問	3問

番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無回答率(%)		
			美幌町	北海道	全 国	美幌町	北海道	全 国
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	1.3	6.7	7.6	62.7	44.9	42.3
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して自分の考えを示すことができるよう話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	8.7	9.4	10.9	51.3	32.2	27.9

9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	20.7	25.0	28.9	27.3	14.9	12.6
---------------	--	--------------------------------	------	------	------	------	------	------

⇒ 上位1問 聞いた内容について適切に応じる

【放送原稿】 英語の授業で、来月予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。
メッセージ内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡単に書きなさい。

● 聞いたことを基にして書くという技能総合の問題。

● 言語活動 ア 聞くこと 質問や依頼等を聞いて適切に応じること 《外国語理解の能力》

⇒ 上位2問 聞いた内容について適切に応じる

【問題】 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で書きなさい。

『食料を無駄にすることをやめるために自分ができることについて』

● 聞いたことを基にして書くという技能総合の問題。

● 言語活動 ウ 読むこと 話の内容や書き手の意見などに対して感想をのべるなど、書かれた内容や考え方をとらえること 《外国語理解の能力》

3 美幌の子供の学習状況について

【児童・生徒質問紙からみた美幌町の学習状況（教科に関わること）について】

*平成元年度の美幌町の数値は美幌小+旭小の平均値

国語の勉強は好きですか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	50.7	▼13.5	64.2	63.6
	平成30	項目なし			
	美幌小	57.1	▼ 7.1		
	東陽小	67.4	△ 3.2		
	旭小	42.3	▼21.9		
中3	令和元	62.0	△ 0.3	61.7	65.0
	平成30	項目なし			
	美幌中	47.9	▼13.8		
	北中	74.7	△13.0		
国語の授業の内容はよく分かりますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	68.7	▼16.2	84.9	84.4
	平成30	項目なし			
	美幌小	71.1	▼13.8		
	東陽小	79.0	▼ 5.9		
	旭小	69.3	▼15.6		
中3	令和元	77.3	▼ 0.3	77.6	79.9
	平成30	項目なし			
	美幌中	69.0	▼ 8.6		
	北中	84.8	△ 7.2		
国語の授業は大切だと思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	88.1	▼ 4.9	93.0	93.1
	平成30	項目なし			
	美幌小	83.4	▼ 9.6		

中3	東陽小	93.0	0		
	旭小	96.1	△ 3.1		
	令和元	95.4	△ 4.4	91.0	90.5
	平成30	項目なし			
	美幌中	97.1	△ 6.1		
	北中	93.7	△ 2.7		

算数(数学)の勉強は好きですか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	56.7	▼11.9	68.6	66.4
	平成30	53.9	▼10.1	64.0	61.9
	美幌小	57.1	▼11.5		
	東陽小	76.7	△ 8.1		
	旭小	57.7	▼10.9		
中3	令和元	44.0	▼13.9	57.9	55.0
	平成30	55.3	△ 1.4	53.9	50.0
	美幌中	43.7	▼14.2		
	北中	44.3	▼13.6		

算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	64.2	▼19.3	83.5	81.8
	平成30	74.0	▼ 9.4	83.4	81.7
	美幌小	61.9	▼21.6		
	東陽小	90.7	△ 7.2		
	旭小	65.4	▼18.1		
中3	令和元	63.3	▼10.6	73.9	71.3
	平成30	66.5	▼ 4.5	71.0	68.8
	美幌中	57.7	▼16.2		
	北中	68.3	▼ 5.6		

算数(数学)の授業は大切だと思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	94.0	△ 0.3	93.7	93.2
	平成30	92.8	△ 1.0	91.8	92.1
	美幌小	95.3	△ 1.6		
	東陽小	95.4	△ 1.7		
	旭小	92.3	▼ 1.4		
中3	令和元	81.3	▼ 2.9	84.2	82.9
	平成30	83.8	△ 2.1	81.7	83.6
	美幌中	77.4	▼ 6.8		
	北中	84.8	△ 0.6		

英語の勉強は好きですか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
中3	令和元	51.6	▼ 4.4	56.0	54.6
	美幌中	57.8	▼ 1.8		
	北中	44.3	▼11.7		
英語の授業の内容はよく分かりますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
中3	令和元	68.0	△ 2.0	66.0	64.6
	美幌中	74.7	△ 8.7		

英語の授業は大切だと思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
中3	令和元	73.3	▼12.1	85.4	81.8
	美幌中	67.6	▼17.8		
	北中	78.5	▼ 6.9		

⇒ 小6と中3について、国語と算数（数学）、さらに中3は英語の教科に関連する学習状況について質問したものである。各教科について『好きか』『わかるか』『大切だと思うか』の3項目についてである。ここで一番気にかかるのは、小6の国語と算数について、全国と比べると、

国語 好き -13.5 わかる -16.2

算数 好き -11.9 わかる -19.3 である。

わかると回答した児童が、全国より2割ほど少ないという回答である。

さらに、実態として、国語は50%が嫌いで、30%が分からない。

算数は45%が嫌いで、35%が分からない。

国語や算数の授業は大切と回答している指導が多いことから、今一度、学校として、今一度、教師主導型ではない授業改善に取り組まなければならない。

中3は、数学の勉強が好きと授業の内容が分かるについては、全国より10%ほど低い、全体的に、全国との差は小さく、項目によっては全国を上回っている。

5年生までに受けた授業(1・2年生の時に受けた授業)では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	59.7	▼18.0	77.7	76.2
	平成30	65.6	▼11.1	76.7	75.5
	美幌小	73.8	▼ 3.9		
	東陽小	60.4	▼17.3		
	旭小	82.7	△ 5.0		
中3	令和元	70.7	▼ 4.1	74.8	71.9
	平成30	60.9	▼12.9	73.8	71.7
	美幌中	62.0	▼12.8		
	北中	74.7	▼ 0.1		

⇒ 全国比は小6で18%、中3で4%下回った。昨年度と比べると、小6は全国との差が広がり、中3は9%ほど縮まっている。学校別では、旭小が全国より5%ほど上回り、北中が全国とほぼ同じである。

学級の友達との間(生徒の間)で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	68.7	▼ 5.4	74.1	72.3
	平成30	67.6	▼10.1	77.7	76.9
	美幌小	64.3	▼ 9.8		
	東陽小	53.5	▼20.6		
	旭小	77.1	△ 3.0		
中3	令和元	72.0	▼ 0.8	72.8	70.9
	平成30	70.1	▼ 6.2	76.3	75.0
	美幌中	64.8	▼ 8.0		
	北中	78.4	△ 5.6		

⇒ 昨年度と比べると、小6と中3ともに5～6%程度、差が縮まった。中3はほぼ全国と並んでいる。

学校別では、旭小と北中が全国を上回った。学校差は大きい、全体的に「主体的、対話的で、深い学び」への授業改善が進められている。

4 美幌の子供の家庭等での学習状況について

【児童・生徒質問紙からみた美幌町の生活習慣や学習状況について】

【経年経過から比較できる項目です。】

平日、学校の授業時間以外に家庭や学習塾等で、1日当たりの勉強する時間の割合(%)

① 勉強を1日1時間以上する					② 勉強は30分より少ない				
	年	美幌町	北海道	全国		年	美幌町	北海道	全国
小 6	平成28	35.6	54.7	62.5	小 6	平成28			
	平成29	40.9	57.1	64.4		平成29			
	平成30	38.2	57.1	66.2		平成30			
	平成31 令和1	37.4	57.6	66.1		平成31 令和1	32.8	10.4	7.6
中 3	平成28	37.8	61.8	67.9	中 3	平成28			
	平成29	51.2	64.2	69.6		平成29			
	平成30	52.2	64.7	70.6		平成30			
	平成31 令和1	45.9	63.2	69.8		平成31 令和1	12.7	10.6	8.4

家庭で計画を立てて勉強している割合(%)

③ 勉強を全くしない					④ 計画を立てて勉強している				
	年	美幌町	北海道	全国		年	美幌町	北海道	全国
小 6	平成28	2.5	2.6	3.0	小 6	平成28	55.0	63.3	62.2
	平成29	6.7	7.8	9.7		平成29	62.2	65.4	64.5
	平成30	5.2	2.2	2.5		平成30	58.4	67.6	67.6
	平成31 令和1	0.0	1.8	2.3		平成31 令和1	64.2	71.3	71.5
中 3	平成28	16.1	7.6	5.5	中 3	平成28	30.8	48.2	48.4
	平成29	15.7	6.5	4.9		平成29	39.0	51.2	51.5
	平成30	14.9	6.7	4.9		平成30	47.8	52.6	52.1
	平成31 令和1	11.3	6.2	4.4		平成31 令和1	51.4	49.2	50.4

- 学力向上の取組に欠かせない要因として、家庭での学習習慣の定着と読書習慣の形成が必要です。

児童・生徒質問紙の中から、家庭での学習と読書について、現状・実態をみてみます。

- ① 平日に1日当たり1時間以上勉強している割合は、小6で37.4%、中3で45.9%と、小6は4割、中3は5割を切っています。また、全国平均と比べると、小6は28.7%と3割も少ない現状です。中3は23.9%で、2割ほど少なく、昨年比の18.4%よりさらに5.5%開きました。
- ② 別の見方をすれば、中3で、全く勉強をしないと1時間以内をあわせると54%にもなり、これは、全国30%の1.8倍になります。小6についても、62.7%で、全国34%の1.8倍ほどになります。
また、下記の表のとおり、小6で30分より少ないは32.8%で、全国7.6%の実に4倍以上にもなります。しかし、小6で全く勉強をしない児童は0になりました。
- ③ 家庭において、自分で計画を立てて勉強している割合は、小6が64.2%で、全国平均より7.3%下回りました。しかし、中3においては51.4%と、全国平均より1%上回りました。また、町として昨年度と比べると、小6は5.8%、中3は3.6%、小中どちらも増えています。

* 平成28年度からの経年経過をみていくと、

● 1日1時間以上勉強する

小6は、平成29年度の40.9%をピークに下降傾向、中3は、平成29・30年度の50%越から、今年度は7%減となっています。

● 勉強を全くしない

小6は、ここ数年5%程度でしたが、今年度初めて0%になりました。中3は、平成28年度の11.6%から、今年度11.3%と、少しずつですが減少しています。

● 計画を立てて勉強している

小6は、波はありますが、全体的に増加傾向にあり、今年度は、64%を超えました。中3は加速度的に増加し、平成28年度から本年度は20%以上増え、全国を上回りました。

⇒ これらのことから、自分で計画して勉強する小中学生が増加し、特に中学生が全国を上回ったことは、大きな成果といえます。

① 勉強を1日1時間以上する					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	37.4	▼28.7	66.1	57.6
	美幌小	35.8	▼30.3		
	東陽小	55.9	▼10.2		
	旭小	38.5	▼27.6		
中3	令和元	45.9	▼23.9	69.8	63.2
	美幌中	43.6	▼26.2		
	北中	48.1	▼21.7		
② 勉強は30分より少ない					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	32.8	25.2多	7.6	10.4
	美幌小	35.7	28.1多		
	東陽小	9.3	1.7多		
	旭小	26.9	19.3多		
中3	令和元	12.7	4.3多	8.4	10.6
	美幌中	9.9	1.5多		
	北中	15.2	6.8多		
③ 勉強を全くしない					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	0.0	2.3少	2.3	1.8
	美幌小	0.0	2.3少		
	東陽小	0.0	2.3少		
	旭小	0.0	2.3少		
中3	令和元	11.3	6.9多	4.4	6.2
	美幌中	16.9	12.5多		
	北中	6.3	1.9多		
④ 計画を立てて勉強している					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	64.2	▼7.3	71.5	71.3
	美幌小	61.9	▼9.6		
	東陽小	76.8	△5.3		
	旭小	69.2	▼2.3		
中3	令和元	51.4	△1.0	50.4	49.2
	美幌中	45.1	▼5.3		
	北中	56.9	△6.5		

5 美幌の子供の読書状況について

【児童・生徒質問紙からみた美幌町の生活習慣や学習状況について】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小6	美幌町		全国比		全国		北海道	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
【1時間以上】	16.9	12.0	▼2.4	▼6.3	19.3	18.3	19.0	18.4
【30分以上】	35.1	28.4	▼6.0	▼11.4	41.1	39.8	38.7	38.1
【全くしない】	27.9	38.8	△9.2	△20.1	18.7	18.7	22.1	21.4
中3	美幌町		全国比		全国		北海道	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
【1時間以上】	19.3	13.3	△4.5	△0.9	14.8	12.4	16.1	13.2
【30分以上】	31.1	22.6	△0.2	▼4.4	30.9	27.0	32.8	28.1
【全くしない】	34.2	43.3	△1.3	▼8.5	32.9	34.8	30.7	33.8

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

小6	美幌町	全国比	全 国	北海道
週に1回以上	7.5	▼9.7	17.2	14.9
月に1～3回程度	10.4	▼12.9	23.3	20.3
ほとんど・全く行かない	40.3	△10.4	29.9	34.3
中3	美幌町	全国比	全国	北海道
週に1回以上	6.7	▼1.6	8.3	7.1
月に1～3回程度	10.7	▼9.7	20.4	17.6
ほとんど・全く行かない	57.3	△2.0	55.3	58.4

読書は好きですか。

小6	美幌町	全国比	全 国	北海道
好き	31.3	▼13.0	44.3	45.6
どちらかと言えば好き	38.8	△8.1	30.7	29.5
好きではない	17.9	▼9.6	8.3	8.5
中3	美幌町	全国比	全国	北海道
好き	34.7	▼4.2	38.9	42.6
どちらかと言えば好き	28.0	▼1.1	29.1	28.3
好きではない	13.3	△0.5	12.8	11.5

- 学校の授業時間以外で30分以上読書している割合は、小6は40.4%で、全国より17.7%低く、中3は35.9%で、全国より3.5%低くなっています。
昨年度と比べると、小6は、52%⇒40%と12%減、中3は50%⇒36%と14%減でした。さらに、読書を全くしない割合は、小6で38.8%、中3で43.3%、全国平均と比べると、
小6は、全国平均18.7%の2倍以上、中3で全国平均34.8%の25%増となっています。
昨年度の美幌町と比べても、読書時間は減っています。
- 読書時間の減少は、学校図書館や町図書館の利用や読書が好きかの数値と連動しており、特に小学校の数値が低くなっています。

→ 家庭等で全く学習しないことは致命的なことです。やはり、家庭学習の習慣付けが必要です。習慣化している児童生徒には、量と質の向上です。

各学校で取り組んでいる「家庭学習の手引き」の実効化と、保護者への啓もうや、学校と連携した取組を実行することです。学校としても、宿題と家庭学習のおさを明確にし、授業に生きる、意欲的に取り組める家庭での学習について、工夫が必要です。

児童生徒には、家庭での学習の意味や必要性について、今一度考えさせ、実感としてとらえさせる指導が重要です。

家庭においても、家庭での学習に大きな障害となっているゲーム等について、時間等のルールを子どもとともに決め、実行させる等、学習習慣を身につけさせるための意図的な働きかけが必要です。ただ家庭によっては子供と親との関係もあり、PTA等の組織的取組も必要です。

6 美幌の子供の生活習慣について

【児童・生徒質問紙からみた美幌町の生活習慣について】

『早寝・早起き・朝ごはん』運動の視点から

美幌の子どもの「睡眠」が改善！

▼ 朝食について

- 美幌町の子供の「朝食を毎日食べている割合」は、全国平均より、小6で4.3ポイント(昨年度2.9ポイント)下回り、中3は0.9ポイント(昨年度0.1ポイント)上回りました。
- 昨年度の美幌町の結果と比べると、小6で0.6ポイント下回り、中3で2ポイント上回りました。
- 平成28年度からの経年比較をすると、朝食を毎日食べている割合が中3で増加傾向を示しています。

【朝食を毎日食べている割合】

		小学校6年	中学校3年
美幌町	31年度・令和1年度	91.0%	94.0
	30年度	91.6	92.0
	29年度	97.6	92.5
	28年度	93.2	88.8
全 国	31年度・令和1年度	95.3	93.1
全 道	31年度・令和1年度	94.0	92.4

▼ 睡眠について

- 『毎日、同じ時刻に起きている』『毎日、同じ時刻に起きている』割合は、昨年度は、小中ともに、全国・全道平均を下回りましたが、今年度は、中3で、全国を上回りました。
- 昨年度の美幌町の結果と比べると、小6で10ポイント、中学校で6～13%ほど上回りました。睡眠については大きな改善です。

【毎日、同じ時刻に寝ている割合】

		小学校6年	中学校3年
美幌町	31年度・令和1年度	80.6%	80.0
	30年度	71.5	67.7
	29年度	76.2	71.5
	28年度	78.7	65.1
全 国	31年度・令和1年度	81.4	78.0
全 道	31年度・令和1年度	81.5	77.4

【毎日、同じ時刻に起きている割合】

		小学校 6 年	中学校 3 年
美幌町	31年度・令和 1 年度	91.0%	93.3
	30 年度	81.2	87.6
	29 年度	90.3	90.7
	28 年度	88.2	86.0
全 国	31年度・令和 1 年度	91.6	92.8
全 道	31年度・令和 1 年度	90.8	92.9

『その他の生活習慣』の視点から

【美幌町のその他の生活習慣について】

学校に行くのは楽しいと思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小 6	令和元	71.6	▼14.2	85.8	83.5
	平成30	項目なし			
中 3	令和元	82.6	△ 0.7	81.9	78.7
	平成30	項目なし			

⇒ 中3は、全国よりわずかが高く、学校が楽しいと思っている生徒が8割に達する。

小6は、全国と比べると14%ほど低くなっている。

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小 6	令和元	79.1	▼ 7.0	86.1	84.4
	平成30	65.6	▼19.7	85.3	83.4
中 3	令和元	88.0	△ 6.5	81.5	82.1
	平成30	87.0	△ 4.8	82.2	82.3

⇒ 先生との関係を示す数値でもあるが、中3は、先生に認められていると思う生徒が90%ほどでとても多く、全国と比べても多い。

学校のきまりを守っていますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小 6	令和元	82.1	▼10.2	92.3	91.4
	平成30	77.9	▼11.6	89.5	88.4
中 3	令和元	96.6	△ 0.4	96.2	95.7
	平成30	91.3	▼ 3.8	95.1	94.6

⇒ 中3は、97%と、とても高く、また、全国と比べても、わずかが高くなっている。

小6は、全国と比べると10%ほど低くなっている。

自分には、よいところがあると思いますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小 6	令和元	70.2	▼11.0	81.2	78.9
	平成30	62.3	▼21.7	84.0	82.7
中 3	令和元	74.0	▼ 0.1	74.1	73.4
	平成30	80.7	△ 1.9	78.8	78.2

⇒ 自己肯定感については、全国と比べて、中3はほぼ同じだが、小6はかなり低い。

しかし、小6は、前年度より全国との差が10%ほど縮まった。

将来の夢や目標を持っていますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	86.6	△ 2.8	83.8	82.0
	平成30	74.0	▼11.1	85.1	84.0
中3	令和元	84.6	△14.1	70.5	70.6
	平成30	73.3	△ 0.9	72.4	71.3

⇒ 小6は3%ほど、中3は14%も、全国より高い。

将来の夢や目標をもって、学校生活を送る児童・生徒が多い。

人が困っているときは、進んで助けていますか。					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	86.5	▼ 1.4	87.9	86.3
	平成30	項目なし			
中3	令和元	89.3	△ 3.4	85.9	84.1
	平成30				

⇒ 中3は、全国より3%ほど高い。小6は、全国と比べると1%ほど低くなっている。

今住んでいる地域の行事に参加していますか					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	62.7	▼ 5.3	68.0	62.2
	平成30	42.2	▼20.5	62.7	55.9
中3	令和元	35.3	▼15.3	50.6	44.8
	平成30	33.6	▼12.0	45.6	39.0

⇒ 地域の行事に参加している児童生徒は、全国と比べて低い。全国と比べると、特に中3が低い。しかし、昨年度の町と比べると、小6は、昨年度より20%ほど、中3も2%ほど高くなっている。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。					
そう思う					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	97.1	00.0	97.1	97.1
	平成30	91.5	▼ 5.3	96.8	96.8
中3	令和元	92.6	▼ 2.5	95.1	94.7
	平成30	93.8	▼ 1.7	95.5	94.8
全く思わない					
学年	年度	美幌町	全国比	全国	北海道
小6	令和元	1.5	▼ 0.7	0.8	0.9
	平成30	2.6	△ 1.5	1.1	1.3
中3	令和元	1.3	00.0	1.3	1.4
	平成30	3.1	△ 1.6	1.5	1.7

⇒ どんな理由があっても、いじめはいけないことだと思う小6は97.1%と、昨年度より5.6%高くなり、全国平均と同じになった。中3は92.6%で、昨年度より1.2%、全国比0.8%低くなった。

また、いじめはいけないこととは全く思わない子が、小6で1.5%、中3で1.3%と昨年度より低くなった。全国比は、中3で全国と同じになった。

しかしこの項目は0を目標にしなければならない。段階での数値としては大きな課題である。